

第2回 ESGファイナンス・アワード・ジャパン



環境サステナブル企業部門 特別賞

JFEホールディングス株式会社

## カーボンニュートラル 実現へ、脱炭素技術の 早期確立目指す



常務執行役員  
北島 誠也氏

一貴社は、「エネルギー多消費産業のトランジションへの取組みに優れた企業」として特別賞を受賞されました。受賞理由となった取組みをご紹介いただくとともに、特別賞の受賞についてのコメントをお聞かせください。

私たちJFEグループは、環境負荷の低減や気候変動問題への対応を極めて重要な経営課題の一つと捉え、中長期的な持続的成長と企業価値向上の実現に向けて取り組んでいます。

JFEグループは、2019年5月、TCFDの提言に賛同することを表明し、TCFDが提言している「シナリオ分析」を用いて気候変動問題に対する課題を特定し、リスク対応のみならず機会の獲得を含めた持続的な成長に向けた戦略策定を進めました。2020年には、JFEグループとしての2050年カーボンニュートラルに向けた目標と道筋を具体的に開示しました。今回の受賞を通じ、私たちの取組みが正しい方向に進んでいることを再確認することができ、今後の活動に生かしたいと考えています。

一今年の貴社の環境/サステナビリティ情報開示で注目すべきポイントをお教えてください。

JFEグループは、2021年5月に策定した第7次中期経営計画（2021～2024年度）において気候変動問題への対応を改めて経営の最重要課題と位置付けて具体的な施策に落とし込み、2050年カーボンニュートラルの実現を目指すべく「JFEグループ環境経営ビジョン2050」を策定しました。

第一に、企業理念「JFEグループは、常に世界最高の技術をもって社会に貢献します」に基づき、気候変動問題の解決に向けて超革新的技術に挑戦していきます。今回、具体的な施策を含むロードマップを示しました。鉄鋼事業では、当社独自の超革新的技術である「カーボンリサイクル高炉（高炉で発生するCO<sub>2</sub>をメタン化して再利用する技術）」と「CCU（CO<sub>2</sub>回収・利用）」の組み合わせを軸として、カーボンニュートラルの実現に向けて水素製鉄や電気炉

等の技術開発も複線的に進めていきます。

次に、CO<sub>2</sub>削減の取組みを新たな事業機会と捉え、社会全体のCO<sub>2</sub>削減に貢献することにより企業価値の向上に努めていきます。エンジニアリング事業における再生可能エネルギー発電、鉄鋼事業における電磁鋼板や超ハイテン材によるEV化・軽量化等により、社会全体のカーボンニュートラル実現に貢献していきます。特に、洋上風力発電はグループの総合力を発揮できる事業であり、積極的に推進します。

高い目標である「2050年カーボンニュートラルの実現」に向けて、世界の競合他社に先んじて、必要な脱炭素技術を可能な限り早い時期に確立することを目指していきます。

一企業規模や業種特性に応じた特定の重要な環境課題等に対し独自性のある取組みを進めている/進めようとしている企業の皆様に、情報開示等についてアドバイスがあればお願いいたします。

気候変動問題は、技術進展や政府規制など様々な変化要素が絡み合い、正しい解決策の見極めが難しく、企業のみならず投資家・株主の皆様も投資方針の選択に苦慮されています。このようなステークホルダーの皆様のご懸念に寄り添いながら、当社の取組み方針を網羅的に分かりやすくご説明することを強く意識しています。

当社は、昨年のCO<sub>2</sub>削減目標の開示以来、マスコミ、アナリストを招待した説明会を開催し、当社の方針をご説明するとともに、出席者から寄せられた様々な懸念や疑問に対して、具体的な事例やロードマップ等を示しながら丁寧にお答えしました。説明会後も、投資家の方々からの要請を受けて個別ミーティングを数多く開催しました。その結果、当社の方針や取組みについて、多くのステークホルダーから一定のご理解を頂けるようになったと考えています。今後も、その後の進捗や環境変化を踏まえた展開に関し、具体性を持ったご説明を継続的に行っていくことが重要であると考えています。